

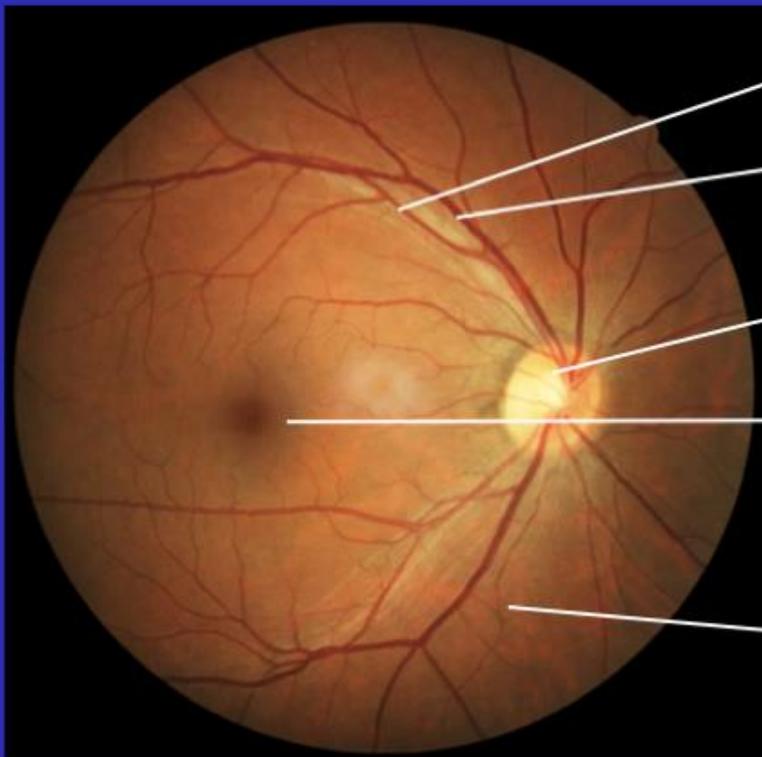
【眼の病気のおはなし】

その④「網膜とは」

網膜は眼球の内側にある半透明の神経の膜で、光を感じる役割をもっています。網膜には血管があり、脳に繋がっている視神経や、ものをよくみる中心である黄斑といった構造があります。網膜の厚みには個人差があり、網膜が薄い部分では網膜下の層（脈絡膜）の血管が透けて眼内に網目状の模様が表れます。これを紋理状眼底（高度近視が原因の時は近視性眼底）と呼びます。正常でもみられる変化ですが、左右差が強いときや、病気が原因のときには詳しい検査をお勧めしています。

何らかの原因で網膜に出血やしみを生じると病気と判定されます。出血やしみの大きさ、場所、数によって症状はさまざまです。たとえ自覚症状に乏しくてもときに重症のこともあります。病気の詳細を調べるためには眼科を受診しましょう。

眼底の写真（正常）



網膜動脈

網膜静脈

視神経乳頭

黄斑

脈絡膜血管の透見
(眼底紋理)